

■ **ブナ林を元気にするために** ■

ブナ林の元気を取り戻すために、増えすぎたシカの密度を減らすとともに、森林がなくなってしまった場所に苗木を植えたり、下草が生え若木が育つように柵をつくったりして、長い時間をかけて、ブナ林を再生する取り組みが行われています。

また、ブナ林の元気がなくなる仕組みを明らかにするために、さまざまな調査をしています。



ボランティアの人たちが、丹沢でとれた種子から育てた苗木などを植えています。



シカが入れないように柵でかこんで植物を保護します。
(清川村丹沢山)



ブナ林のシカの数や行動について調査していきます。



枯れてしまったブナを調査して、その原因を確かめます。



1938年(昭和13年)ころの塔ノ岳山頂付近
ブナの大木におおわれていました。



ひるがたけ げんざい とうのたけさんちょう
蛭ヶ岳がみえる現在の塔ノ岳山頂付近
ブナの木は、すっかり消えてしまっています。